

星空のたより

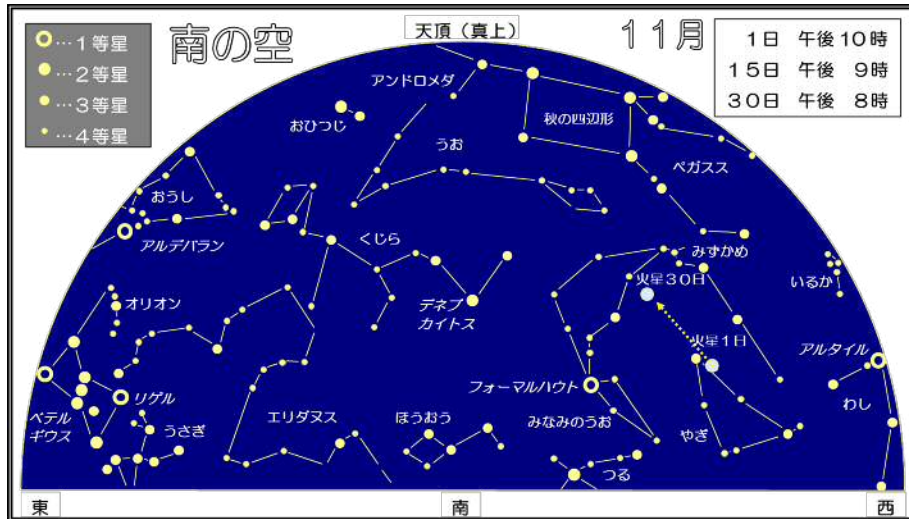
2018年11月号

岐阜市科学館

岐阜市本荘 3456-41

TEL 058-272-1333

秋の夜空をながめてみよう!!

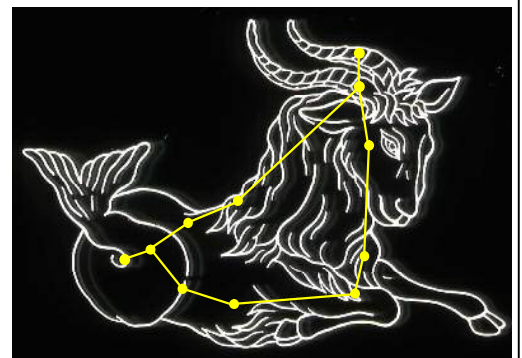


ようやく夏の^{なつ}大三角は西に^{だいさんかく}大き^{にし}くかたむいて、東の空からは、冬の^{ふゆ}星座も^{せいざ}でてきました。その間には^{あいだ}さまれた秋の星たち。でも秋は^{あき}ちよっぴりさびしい^{ほしぞら}星空。明るい星が^{すく}少ないのです。明るかった惑星も^{わくせい}暗くなったり、西にしずんで見えなくなったりしています。でも、^みきらきらした夏がすぎ、^お落ちて^{おち}着いて眺めるにはちょうど良い^{ようき}夜空かもしれませんね。

半分が魚のからだ！？ やぎ座の由来

上の南の空の星図で、南と西の真ん中あたりに、三角形のような星の並びがあるのがわかるかな。この星の並びは^{たんじょうせいざ}誕生星座でもある「やぎ座」なんだ。やぎといってもちょっと姿がおかしいかい？上半身はやぎで下半身が魚になっているね。このやぎ座のモデルは、^{ようき}陽気な放牧の神^{かみさま}パンなんだ。でも、パンは上半身が人間で下半身がやぎの姿の神様なんだ。やぎ座の姿にどうしてなったのだろうか。

ギリシャ神話によると神様たちが^{えんかい}宴会をしていると、テュフォンというおそろしい怪物が^{かいぶつ}現れた。驚いた神々は思い思いの姿に変身して一目散に逃げ出したんだ。パンはやぎの姿に変身して逃げていく。しかし、パンの行く手には大きな川が・・・でも立ち止まっているとつかまってしまう。魚の姿に変身して逃げ切ろうと考えたパンは慌てていたのでしょう。なんと上半身を変身し忘れ、上半身がやぎのままで下半身だけ魚というおかしい姿で一生懸命泳いで逃げていたんだ。そして、その姿がそのまま星座となって、上半身がやぎで下半身が魚というやぎ座が生まれんだ。



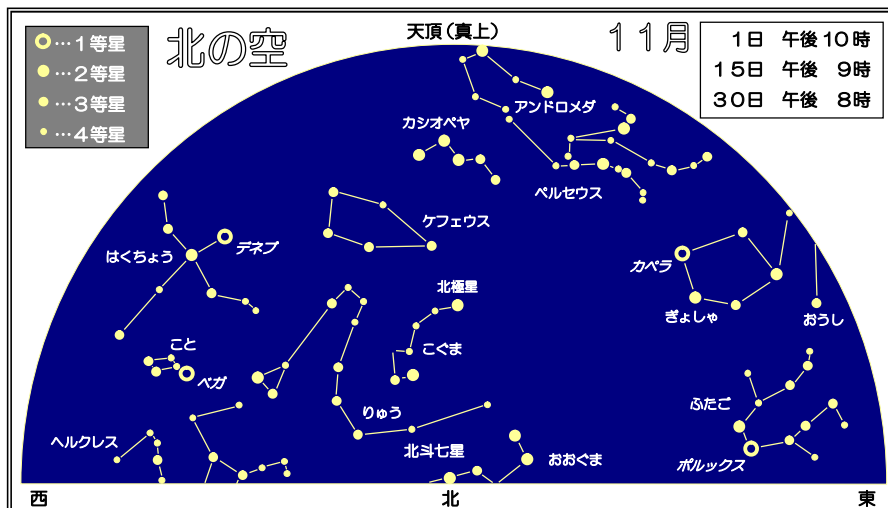
月の満ち欠け (時間は月が東から出る時刻 (「ー」はその日に月の出なし): 観測地・岐阜市)

みかづき 三日月	はんげつ 半月 (上弦)	まんげつ 満月	はんげつ 半月 (下弦)	しんげつ 新月
10/11	10/17	10/25	11/1	11/8
7:46	13:14	17:48	—	6:32
11/10	11/15	11/23	11/30	12/7
8:33	12:31	17:02	—	6:22

※日の入り後、月を見るのに適した期間 (11/10~11/26、12/10~12/25)

星空クイズ Q:放牧の 神パンがモデルの星座 は何座でしょうか？

星空にポツカリと開いた口
 のような星の並びのやぎ座。
 この逆三角形に並んだ星の
 並びをギリシャの人々は
 「神々の門」とよび、魂がこ
 の門を通して天国に昇ると
 考えていました。
 (答え…やぎ座)

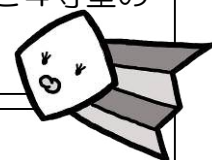


星の明るさはどうやって表すの？

ツキコサン

夜空の星をよく見ると、明るい星もあれば、何とか見えるくらいの暗い星もあるわね。星の明るさを表すためにどんなものさしがあるのかしら。

その歴史は古く2000年ほど前までさかのぼるわ。ギリシャの天文学者のヒッパルコスが、一番明るい星を「1等星」、次に明るい星を「2等星」、そして、目に見えるぎりぎりの暗い星を「6等星」と名付けたわ。現在1等星は21個、そして、1等星から6等星までの星の数は8600個ほどあるのよ。現在では、もっとこまかく星ごとに明るさが等級で分けられているの。1等星から6等星まで100倍の明るさの違いがあるわ。1等級上がるごとに、2.5倍明るくなるの。皆さんが住んでいるような街の明かりがあるところでは2～3等星の星まで見えるわ。街の明かりが少なかったり、空の状態がよかったりすると4等星の星も見ることがあるわ。今日は何等星の星までみることができるかしら。



★★「国際宇宙ステーション ISSからの眺め」の放映がラスト!! ★★

「国際宇宙ステーション ISSからの眺め」がいよいよ今月で終了となり、ラストになります。地上400kmから眺める景色はもう見ましたか。興味がある人は、この機会をお見逃しなく！

	11時	12時	13時	14時	15時	16時
平日	※放映時間は各回約50～55分 前半に今夜の星空解説あり。		星空解説& ISSからの眺め 13:00～		星空解説& 火～木曜日 Feel the Earth 金曜日 星空タイム 14:30～	星空解説& ISSからの眺め 16:00～
土曜日 日曜日 祝日	キッズタイム 星空解説& ぼのぼの 10:30～	星を見る会 昼間の	星空解説& ISSからの眺め 13:00～	星を見る会 昼間の	星空解説& ポケットモンスター 14:30～	星空解説& Feel the Earth 16:00～

● 星空タイムは、毎週金曜日 14:30～のオール生解説のプラネタリウムです。夕暮れから夜明けまでじっくりと星空めぐりをします。

☆ 昼間の星を見る会 (11:30～、14:00～、15:30～) 土・日・祝日に屋上天文台にて

☆ 11月10日(土) 18:00～は「星を見る会」。当日9:30から参加券配付(定員制)屋上・天文台で「海王星、フォーマルハウト(1等星)、アルマク(二重星)」などの観察をします。

☆ 11月24日(土) 18:00～は「ぎふスターウォッチング」。JR岐阜駅前にて(事前申込不要)

■ 11月27日～11月30日は番組入替えのためプラネタリウム休演日となります。

☆印は天候により天体観望が中止となることがございます。